

授業科目	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ(荒木)				実務家教員担当科目	○	
単位	1.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	荒木 剛						
授業概要	<p>各福祉分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて、福祉課題を抱えた人々に対する支援事例を活用し、ソーシャルワークの展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。また、ソーシャルワーク実習Ⅱの後には、各自の実習体験を踏まえた個別・集団指導による事例研究・事例検討を行う。なお、本講義は「ソーシャルワーク演習（専門）1・2・4」と連動して行われる。学生は4つのグループに別れ、各教員が担当するテーマをローテーションで全て受講する。</p> <p>※履修対象者は、社会福祉士資格の取得希望者（ソーシャルワーク実習Ⅱの履修者）となります。</p>						
授業形態	演習	授業方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション				
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<p>ソーシャルワークの対象者が抱える課題とその社会的背景について理解し、課題解決に向けた知識・技術の活用を検討できる（具体的には以下の通り）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 事例検討の意義と目的を理解できる。（DP3-1） ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を習得できる。（DP3-2、DP4-3） 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を習得できる。（DP2-2） 支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に習得できる。（DP2-1、DP4-2、DP5-2） ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に習得できる。（DP2-1、DP4-2、DP5-2） 事例検討や事例研究の具体的方法について習得できる。また、それらを通じたスーパービジョンについて理解できる。（DP2-1、DP4-2、DP5-2） 						
理想的レベル	<p>ソーシャルワークの実践モデル・アプローチに基づき対象者の課題解決に向けた支援を検討できる。また、支援を概念化・体系化し、他者に示すことができる。</p>						
評価方法・評価割合							
評価方法		評価割合（数値）			備考		
試験							
小テスト							
レポート							
発表（口頭、プレゼンテーション）		30%					
レポート外の提出物		20%					
その他		50%					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング							

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21229J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
各回の授業内容に関する事前の学習、事後の振り返り・整理などを行う。										1	
授業計画											
第1回	【オリエンテーション】（担当：全教員） 講義の目標と概要、受講の方法・ルールについて説明する。										
第2回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 実務家教員としての実践経験を踏まえ、福祉課題を抱えた人々に対する総合的かつ包括的なソーシャルワークの実践事例について以下の内容を教授する。 1. 事例検討の目的と意義について解説する。 2. ソーシャルワークの対象者理解及び対象者が抱える課題とその社会的背景について解説する。 3. 具体的なソーシャルワーク（グループワークを含む）の展開過程やそこで活用される以下の支援技術について指導を行う。 ・アウトリーチ ・チームアプローチ ・ネットワーキング ・コーディネーション ・ネゴシエーション ・ファシリテーション ・プレゼンテーション ・ソーシャルアクション ・記録（経過把握・管理） ※事例の内容は各教員により異なるため講義時に提示する。 【実習後】 各自が実習で体験した事例について、個別・集団による事例検討・事例研究を行い、ソーシャルワークに係る知識・技術の習得のための実技指導を行う。										
第3回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。										
第4回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。										
第5回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。										
第6回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。										
第7回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。										

第 8 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
第 9 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
第 10 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
第 11 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
第 12 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
第 13 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
第 14 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
第 15 回	【課題別の事例検討】（担当：全教員） 授業内容及び展開方法は上記を参照のこと。
テキスト	プリント・レジュメ等を配布する。
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	適宜紹介する。
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	コメントや回答例の提示等によりフィードバックする。
学生への メッセー ジ・コメ ント	ソーシャルワークの基本的視点及び課題解決に資する知識、支援技術を必要とします。日頃から新聞や関連雑誌等に目を通す習慣をつけ、様々な福祉課題の現状について理解を深めておくこと。